日独サスティナブル建築フォーラム in東京 ~これからの住宅産業が提供すべき『新たな豊かさ』とは~



3.11以降、日本国民の住まいに対する欲求は大きく変化いたしました。いや、原点に回帰 したというべきでしょうか。それまではイニシャルコストしか気にしない「近視眼的なローコ スト住宅」、小手先だけの「エコ住宅」、様々な住宅がありましたが、太古の昔から、人が豊 かに暮らすための住まいの条件は3つだと我々は考えます。「健康」「経済」「コミュニティ」 これら3つが満足されなければ、おそらく人はその家に不満を抱くことでしょう。 はたして「健 康」「経済」「コミュニティ」を満足させる住まいとはどのような家なのでしょうか。その解を皆 で考える。それがこのたびのフォーラムの狙いです。奮ってご参加ください。

で参加希望の方はFAXかメールにてお申し込みください。

1 時 2013年10月29日(火)13:45~17:30(13:00開場)

●会場 六本木ヒルズ49階タワーホール 東京都港区六本木 6-1 0-1 シンポジウムは同時通訳あり

●参加費 5000円 (事前振込をお願い致します。)

振込口座 ジャパンネット銀行 本店営業部(001) 普通 3296582 社) クラブヴォーバン

プログラム

13:00 受付開始

13:45 主催者挨拶

13:50 来齊挨拶

14:00 特別講演①

14:45 特別議演②

15:30 休憩·名刺交換会

15:50 パネルディスカッション

17:30 閉会

基調講演①

テーマ:「ドイツのプラスエナジーハウスの現状」 ドイツ国交省 ハンスディーター・ヘグナー氏

基調講演②

テーマ:「未来都市構想 環境負荷削減と環境品質向上」 建築環境・省エネルギー機構(IBEC)理事長 村上周三氏

ディスカッション

これからの住宅産業が提供すべき『新たな豊かさ』とは ファシリテーター:村上 敦氏 ジャーナリスト

長嶋 修氏 長嶋修事務所代表

中谷哲郎 氏 日本エネルギー機関代表

村上周三 氏

ハンス=ディーター・ヘグナー 氏

一般社団法人 クラブ・ヴォーバン 主催

日本エネルギー機関 日本エネルギーパス協会 エコセンターNRW(ドイツ) 協力

協替 東京ガス LIXIL マグ・イゾベール 日本ERI エディフィス省エネテック 低燃費住宅普及の会

国土交通省(予定) 後援

4 6 6 1 1 1

多加中还青		
貴社名:		
①お名前:	E-mail	TEL
②お名前:	E-mail	FAX
返送先 FAX: 03-5157-3178 E-mail:support@jena-web.jp 【企画・運営】 クラブヴォーバン東京事務所 TEL:03-6205-4493 事務局 担当:市瀬・小出		
		ャパンネット銀行 本店営業部(001)
□ 振込済 □ 後日振込		通 3296582 般社団法人 クラブヴォーバン

登壇者紹介



ハンス=ディーター・ヘグナー氏

ドイツ国土交通省 持続可能な建築部部長

ソフィア大学建築学科ディプロム過程修了後、個人設計事務所に勤務。旧東ドイツ科学技術省建築部門に採用。 東西ドイツ統一後は新築、既存建築物の省エネ化の専門家として、現在の連邦交通・建設・都市開発省(BMVBS) の前身である省庁にて勤務。現在は同省において建築物の省エネ化、持続可能な建築物の推進を担当する専門 部局の部長を務める。同時に、ドイツ工業規格設定のための専門家諮問委員会における委員長、ドイツ建築技術 研究所(DIBt)における専門家諮問委員会A「断熱と防音のための建材と建築手法」の委員長も兼任する。



村上周三氏

1967 年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了 工学博士。1985 年 東京大学生産研究所教授、1999 年デンマーク工科大学 (DTU) 客員教授、2001 年慶應義塾大学理工学部教授、2008 年独立行政法人建築研究所理事長を経て 2012 年より現職 (就任は 2003 年~)。専門は建築・都市環境工学。空気調和・衛生工学会会長、日本建築学会会長等を歴任。IPCC 第 5 次評価報告書の主執筆者。主な著書に「低炭素社会におけるエネルギーマネジメント」(共著、慶應義塾大学出版会、2010 年)、「スリム&スマート未来都市構想」(単著、エネルギーフォーラム、2012 年)、他多数。



長嶋修氏

1967年生まれ。住宅メーカーにて営業、企画、開発を経験後、1997年から営業支店長として幅広い不動産売買業務全般に携わる。日々の不動産取引現場において『生活者にとって本当に安心できる不動産取引』『業界人が誇りをもてる仕事』『日本の不動産市場のあるべき姿』を模索するうちに、『第三者性を堅持した不動産のプロフェッショナル』が取引現場に必要であることを確信。1999年、『人と不動産のより幸せな関係』を追求するために、業界初の個人向け不動産コンサルティング会社『不動産調査 さくら事務所(現 株式会社さくら事務所)』を設立する。マイホーム購入・不動産投資など、不動産購入ノウハウにとどまらず、業界・政策提言や社会問題全般にも言及するなど、精力的に活動している。



大島芳彦氏

1970年東京生まれ。(㈱ブルースタジオ専務取締役 1993年武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。 The Bartlett,University Collage London(英国)、Souyhern California Institute of Architecture(米国)に学ぶ。石本建築事務所を経て2000年に恂ブルースタジオー級建築士事務所取締役就任。2005年に恂ホワイトスタジオ設立、代表取締役就任。建築家、不動産コンサルタントとして、自由かつ斬新な建築作品を多数手がける。 特にコンバージョン・リノベーションにおいては、「ラティス青山」をはじめ、06・07年にグッドデザイン賞連続受賞 など高い実績を誇る。その他セミナー講演や執筆活動など、幅広いフィールドで活躍中。



村上敦氏

1971年生まれ。ドイツ・フライブルク市在住、環境ジャーナリスト。技術者としてゼネコン勤務を経て、97年に渡独後、まちづくり、交通計画、エネルギーを主なテーマとして、ドイツや欧州の先進事例を調査、日本に情報発信している。Office Murakami代表。電子・紙媒体を問わず、数々のレポートを執筆。企業のコンサルティングも行う。 著書: 「k W h = ¥ (キロワットアワーイズマネ-) 「100%再生可能へ! 欧州のエネルギー自立地域」など http://www.murakamiatsushi.net/



中谷哲郎氏

1972年生まれ。亀岡大郎取材班グループに入社後、ベンチャー雑誌「月刊ビジネスチャンス」、「週刊ビル経営」「週刊全国賃貸住宅新聞社」などで取材活動。リフォーム産業新聞社に異動後、平成18年にリフォーム産業新聞、工務店新聞の取締役編集長に就任。13年の記者活動で全国の住宅・建築・不動産経営者への取材は数千人。平成24年に退社し、株式会社日本エネルギー機関(JENA)を設立、代表取締役に就任する。